

【患者様・ご家族様へ】愛媛県立中央病院からのお知らせ

ー 脳卒中急性期治療後の早期転院と「脳卒中パートナー病院構想」について ー

このたび、当院の高度な急性期医療の体制を維持し、より多くの救急患者さんを受け入れるために、脳卒中治療の運用を変更いたします。

1 脳卒中パートナー病院構想とは？

当院は愛媛県における脳卒中急性期医療の最後の砦として、救命を最優先する高度な治療を提供しています。しかし、病床が常に満床に近いため、新たな緊急性の高い患者さんの受け入れが困難になる状況が発生しています。

この構想は、脳卒中の専門治療が必要な急性期（発症直後から数日間）の治療を当院で集中的に行った後、容体が安定した段階で、急性期治療の継続やリハビリテーションを目的に地域の連携病院（脳卒中パートナー病院）へ速やかに転院していただく仕組みです。

これにより救命が必要な救急患者の受け入れ体制を強化し、県全体の救急医療を守ることを目指します。

2 早期転院のメリット

- 救急医療の確保 満床による救急車の受け入れ拒否を防ぎ、緊急時の治療の機会を守ります。
- 地域での療養 ご自宅やご家族の近くにある連携病院に移ることで、面会や退院後の生活に向けた準備が行いやすくなります。

脳卒中パートナー病院（五十音順）

- 愛媛医療センター
- おおぞら病院
- 奥島病院
- 梶浦病院
- 済生会松山病院
- 貞本病院
- 鷹の子病院
- 平成脳神経外科病院
- 松山城東病院



3 転院のタイミングと流れ

■ 転院時期の目安

脳卒中の急性期治療が完了し、容体が安定した時点
概ね発症から3－7日程度（患者様の容体により異なります）

■ 転院先病院について

転院先は、当院と連携協定を結び、専門的な急性期治療の継続やリハビリテーションを提供してくださる「脳卒中パートナー病院」からお選びいただきます。当院の地域医療連携室が、患者様の病状やご希望（地理的条件・リハビリ内容など）を考慮し、最適な転院先候補を提案いたします。

転院後も、必要に応じて当院の医師が情報提供や連携を行います。万が一、転院後に脳疾患による外科的処置が必要となった際には当院で対応しますのでご安心ください。

4 患者様・ご家族様へのお願い

■ ご理解とご協力

当院は愛媛県全域における救急医療最後の砦として、公共性の高い役割を担っております。病状が安定し、転院の必要性が生じた際には、速やかな転院にご協力をお願いいたします。

■ ご相談

転院についてご不明な点やご希望がありましたら、遠慮なく主担当医または病棟看護師、地域医療連携室にご相談ください。

2025年11月25日